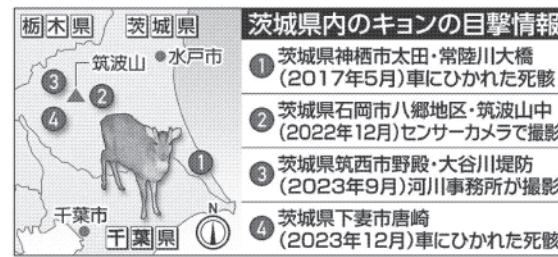


キヨン 本県接近



千葉県で大繁殖し、本県への生息地域拡大が懸念されるキヨン(千葉県提供)

千葉県で大繁殖し、本県への生息地域拡大が懸念されるキヨン(千葉県提供)



特定外来生物

生息域拡大に懸念

問題視されるキヨンは1980年代に千葉県勝浦市で閉鎖された観光施設から逃げ出し、房総半島などで繁殖している個体。現在は

千葉県だけでも推計で約8万6千頭。繁殖力があり、鳴き声も不気味だという。

千葉県内では毎年1万台頭前後の駆除が進む。当初は「利根川を越えて茨城には来ない」との推測もあったが、17年に神栖市、2022年に石岡市筑波山、23年に筑西市と下妻市でそれぞれオス1頭が確認された。筑西市の個体は国道50号の南側、野殿地区で見つかった。本県の県境から10キロ弱の距離だ。

千葉県内で大繁殖し、県をまたいだ生息地域の拡大が懸念されている小型のシカ「キヨン」。特定外来生物として近年は茨城県内で4件の目撃情報が出ている。本県ではまだ見つかってはないが、筑西市では生体1頭が確認されたなど確実に本県に接近。県境の農家も「侵入されれば家庭菜園までやられる」と警戒を強めており、県は情報収集に力を入れている。

茨城で目撃、県境農家警戒



(24)

小学校高学年向け

年組

2025年1月7日付・下野新聞1面

設問

【1】見出しを四つ書き抜きましょう。

【2】キヨンは何の仲間で、いつ、どのような流れで、どこに、何頭くらい繁殖していると考えられていますか。本文から読み取りましょう。

【3】キヨンが繁殖すると何が問題なのでしょうか。本文から読み取りましょう。

【4】もっとも栃木県に近いのは、いつ、どこでの目撃情報でしょうか。地図から読み取りましょう。

【5】茨城県ではどのような対策をとっていますか。本文から読み取りましょう。

【6】栃木県には他にどんな外来生物が入ってきて、どのような問題を引き起こしているのでしょうか。栃木県のホームページ (https://www.pref.tochigi.lg.jp/d04/gairai_priority.html) から調べてみましょう。